

## 中・日・韓三ヶ国のアスペクトの対照研究（3）

吳 鍾 烈

明道大學應用日語學系助理教授

### 摘 要

此研究是根據語言轉移來摸索防止誤用的有效教授法一環，利用三國之間的文法語態(aspect)的對照分析，來分析各語言間的類似點與相異點。特別以中文為母語的台灣學習者的文法語態(aspect)來研究，在教導的同時先說明文法語態(aspect)的兩種基本用法，再利用周邊的用法來說明，提出提高一種學習效果的方法解決策略。再以中文為母語的台灣人在學習日語的時候，對中文的「了」型理解為動作實現「完了」的意思，而對於日文的「タ」型不太認識，且和「～ている」對應頗為生疏，因此利用這點來觀察發生誤用的例子來做此研究。

關鍵字：局勢、狀態存續、結果狀態的持續、語言轉移、狀態維持



# Chinese, Japanese, Korean, contrastive Research of three countries in the aspect (3)

## Abstract

In this paper, analyzed the teaching aspect of explore through the analysis of differences and similarities between each language to prevent the misuse of language as a part of the comparison between the three countries more adequately and effectively. I suggest that it is a sort of solution to teach aspect of the type described two basic usage first and then gradually close the awning while learning how to improve description of that. Especially, When they teach the introduction of an aspect of Japanese language learners to Taiwanese who learn Japanese. Furthermore, Taiwanese who speak Chinese as a mother tongue and study Japanese, they understand <了(re)> as mean the end of realization type (complete) corresponding to type only by recognizing that. because of this reason, it is treated neglectfully to understand < ~ ~ ている(teiru)>. so misuse of negligent handling is commonly observed in several cases.

**Key words:** Aspect, state survival, duration of a state a result, language transfer, maintaining of state

## 要 旨

小稿では、言語移転による誤用を防ぐより適切かつ有効な教授法を模索する一環として三ヶ国間のアスペクト形式の対照分析を行い、各言語間の類似点や相違点を分析した。特に、中国語を母語とする台湾人日本語学習者に日本語の「アスペクト」形式を導入し、教える際には、「アスペクト」形式の基本的な二つの用法を先に説明した後、次第に周辺的な用法を説明しながら学習効果を高める方法も一つの解決策になると提案したい。さらに、中国語を母語とする台湾人日本語学習者の場合は、中国語の「了」形は実現済みを表す「完了」と理解され、日本語の「タ」形だけに対応すると認識するあまり、「～ている」形との対応は疎かに扱われ、誤用を起こすケースがよく観察された。

キーワード: アスペクト、状態存続、結果状態の持続、言語移転、状態の維持

## 1.はじめに

時間のながれのなかでの動作・変化過程の「状態存続」や「結果状態の持続」の意味を捉えるアスペクトの体系は、三ヶ国間の言語において、一見対応しているように見えても、相違点も数多く存在しており、中国語を母語とする台湾人日本語学習者が目標言語である日本語や韓国語を学習する際、逆に日本語や韓国語を母語とする学習者が目標言語として中国語を学習する際、教師は導入する段階で学習者に前以て異なる言語間のアスペクト体系について十分に説明を与え、訓練をさせることによって言語移転による誤用を防ぐことが可能であろう。

小稿では、このような言語移転による誤用を防ぐ、より適切かつ有効な教授法を模索する一環として、中・日・韓三ヶ国のアスペクトの対照研究を試みようとした。

前稿では、動詞の直後に用い、進展する動作過程や変化過程の「状態存続」か、或いは変化の「結果状態の持続」であるかを表す中国語のアスペクト形式には「在」「正在」「正～著」「V+著」「了」形などがあることが既に確認され、これらはそれぞれ「状態存続」「結果状態の持続」といった意味を実現する点に焦点が合わせられており、日・韓両言語の「～ている/～고、어、아、여、저 (go', eo', a', yeo', jyeo)있다. (iss'da'.)」形式と対応していることが明らかになった。<sup>1</sup>

\* 小稿は既発表及び中・日・韓三ヶ国のアスペクトの対照研究(1)(2)に続いて作成されたもので



小稿では、上記のような事実を十分に踏まえて、そのうち「V+著」形式を中心に日・韓両言語の「～ている/～고 있다(～go'iss'da')」形式と対照分析を行い、その意味実現の条件を明らかにしたいと思う。

## 2. 中国語の「正～著」、「V+著」形式について

### 2-1. 「状態の維持」の意味を実現する場合

進展中の動作過程・変化過程の「状態存続」或いは「結果状態の持続」の意味を実現する「V+著」形は例えば、以下の例文[2]～[3]から窺われるように(正/在/正在)+V+著+(目的語)の形式として「結果状態の持続」の意味を実現したり、[4]のように人の意志的な(位置、姿勢)変化の開始後、或いは実現後その結果が残存する。つまり、「結果状態の持続」の意味を表したり、「5」～「6」のように物の無意識的な(状態、位置)変化の後ろについて、「結果状態の持続」の意味を実現することが可能なアスペクト形式である<sup>2</sup>。

[1]彼は歌を歌っている。

[1] 그는 노래를 부르고 있다.

(geu'neun' no'rae'reul' bu'reu'

ある。

\*\* 明道大学 応用日語学系 助理教授

1) 小稿のローマ字転写には google korean romanization system を採用した。

2) 小稿では「～ている」形を、ある進展中の動作・変化の過程が一定の時間的な関係の中において「状態存続」か或いは変化の結果残存を表す「結果状態の持続」であるかを示すアスペクト形式だと定義する。

goiss'da'.)

[1] 他正在唱歌。

[2] 彼女は頭を下げている。

[2] 그녀는 머리를 숙이고 있다.

(geu'nyeo'neun' reul'meo'ri'sug'i'go'iss'da'.)

[2] 他在低著頭。

[3] 彼はあそこで楽しく歌っている。

[3] 그는 거기에서 즐겁게 노래를

부르고 있다.(geu'neun'

geo'gi'e'seo' jeul'geob'ge'

no'rae'reul'bu'reu'go'iss'da'.)

[3] 他在那邊快樂的唱著歌。

[4] 人が並んでいる。

[4] 사람이 줄을 서 있다.(sa'ram'i'

jul'eul' seo'iss'da'.)

[4] 人並排著。

[5] 雪が積もっている。

[5] 눈이 쌓여 있다.(nun'i' ssah'yeo'

iss'da'.)

[5] 積著雪。

[6] 道が曲がっている。

[6] 길이 구부러져 있다.(gil'i'

gu'bu'reo'jyeo'iss'da')

[6] 街道彎曲著。

さらに、下記例文[7]～[8]の「お母さんがご飯を炊いている。/어머니는 밥을 짓고 있다. (eo'meo'ni'neun' bab' eul'jjs'go'iss'da'.)」 「彼は手紙を書いている。그는 편지를 쓰고 있다. (geu'neun'pyeon'ji'reul' sseu'go'iss'da'.)」のような文の場合、動作主(主体)の動作過程が



存続していることを表し、例文[9]の「食卓に茶碗が置いてある/식탁에 그릇이 놓여 있다.(sig'tag'e' geu'reus'i' noh' yeo'iss'da'.)」の場合、主体である動作主の動作過程は問題とせず、「擺」という動作を受けている客体である「碗筷」が、具体的にどこに固定されてその状態が維持されているのか、そして例文[10][11]～[10] [11]の「門が開いてある。/문이 열려져 있다. (mun'i'yeol'ryeo'jyeo' iss'da'.)」 「電気がまだ点いてある。/전기가 아직 켜져 있다.(jeon'gi'ga' a'jig' kyeo'jyeo' iss'da'.)」の場合は「門/문(mun')」や「電気/전기(jeon'gi)」などが客体の動作を受けて変化されたそのままの状態が維持されていることに重点が置かれている。

つまり、「～てある」形は行為結果の維持として、だれかによって行われた行為の結果が現在の状態として維持されているという意味を表す。このように日・韓両言語の「状態の維持」を実現する場合なら、「～てある/～져 있다(～jyeo' iss'da')」の形式で表すことが分かる。しかし、日・韓両言語の場合「～ている/～고、어、아、여、저(～go', eo', a', yeo', jyeo)있다. (iss'da'.)」形の前に来る動詞の語彙的意味によって、その意味実現のされ方が異なるのに対し、中国語の「V+著」形の場合は「状態存続」や「結果状態の持続」のみならず、「状態の維持」といった意味も実現する文法的な振る舞い方をしている。日・韓両言語の場合「状態の維持」の意味を実現する場合ならば、

例文[9]～[11]と[9]～[11]のようにそれぞれいわゆるアスペクト・マーカを示す「～てある」形や「～여、저 있다(～jyeo', jyeo' iss'da')」形を使わなければならないのである。

[7] 母はご飯を炊ている。

[7] 어머니는 밥을 짓고 있다.

(eo'meo'ni'neun' bab'eul' jis'go' iss'da'.)

[7] a. 媽媽正在做飯呢。 b. 媽媽正做著飯呢。 c. 媽媽在做飯呢。 ?d. 媽媽做著飯呢。

[8] 彼は手紙を書いている。

[8] 그는 편지를 쓰고 있다. (geu'neun' pyeon'ji'reul' sseu'go' iss'da'.)

[8] a. 他正在寫信呢。 b. 他正寫著信呢。 c. 他在寫信。 d. 他寫著信。

[9] 食卓に茶碗が置いてある。

[9] 식탁에 그릇이 놓여 있다.

(sig'tag'e' geu'reus'i' noh'yeo'iss'da'.)

[9] a. 餐桌上擺著碗筷。 b. 餐桌上正擺著碗筷。 \*c. 餐桌正在擺著碗筷。 \*d. 餐桌在擺著碗筷。

[10] 冷蔵庫のドアが開いてある。

[10] 냉장고 문이 열려져 있다.

(naeng'jang'go' mun'i' yeol'ryeo'jyeo' iss'da'.)

[10] a. 冰箱的門開著。 b. 冰箱的門正開著。 \*c. 冰箱的門在開。 \*d. 冰箱的門正開。 \*e. 冰箱的門正在開著。

[11] 部屋の電気がまだ点いてある。

[11] 방에 전기가 아직 켜져 있다.



(bang'e' jeon'gi'ga' a'jig' kyeo'  
jyeo' iss'da'.)

- [11] a.屋子的電燈還亮著呢。b.屋子裡的燈正亮著。\*c.屋子的電燈還正在亮。\*d.屋子的電燈還在開。

日・韓兩言語の上記例文の[7] [7]や[8][8]の場合、例文[7] [8]の中国語のAspect形式「正在」「正～著」「在」「V+著」形などは、日・韓兩言語の「～ている/～고 있다(～go'iss'da')」形に対応しているが、例文[9][9]～[11][11]に対応する中国語の[9]～[11]の例文の場合、[正～著]「V+著」形は対応しているのに対し、「在」「正」「正在」形などは対応していないことが分かる。

中国語の場合、主体ではなく客体である「碗筷」「門」「電燈」などのように意志性を持っていない道具類や物の「状態の維持」を捉える場合、「在」「正」「正在」形式は用いられず、「正～著」「V+著」形式が用いられるのに対し、上記のように日・韓兩言語の場合においては「状態の維持」の意味を実現する際には、「～ている/～고 있다(～go' iss'da')」形の代わりに、別の形式である「～である/～여、저 있다(yeo', jyeo' iss'da'.)」という形式を使って「状態の維持」の意味を実現するといった点において相違点が認められる。

一方、「V+著」形式の場合、「状態の維持」の否定の意味を実現する際には、下記例文に見られるようにそのまま残るといった特徴がある。

- [12] 食卓に茶碗が置いてある。→食卓に茶碗が置いていない。

[12] 식탁에 그릇이 놓여 있다. (sig'tag'e' geu'reus'i' noh'yeo'iss'da'.) →식탁에 그릇이 놓여 있지 않다. (sig'tag'e' geu'reus'i' noh'yeo'iss'ji' anh'da'.)

- [12] 桌子上擺著碗筷。→桌子上沒有擺著碗筷。

- [13] 門が開いてある→門が開いていない。

[13] 문이 열려 있다. (mun'i' yeol'ryeo'iss'da'.) →문이 열려 있지 않다. (mun'i'yeol'ryeo' iss'ji' anh'da'.)

- [13] 門開著呢。→門沒有開著。

- [14] 患者が横になっている。→患者が座っている。

[14] 환자가 누워 있다. (hwan'ja'ga' nu'weo' iss'da'.) →환자가 앉아 있다. (hwan'ja'ga' an'ja' iss'da'.)

- [14] 那個病患躺著。→那個病患沒有躺著呢。

しかし、「状態存続」の意味を実現する「V+著」形の場合、否定を表す時は、例えば、下記例文のように「V+着」形は消えてしまうという特徴がある。

- [15] 母はご飯を炊いている。→母はご飯を炊いていない。

[15] 어머니는 밥을 짓고 있다. (eo'meo'ni'neun' bab'eul' jis'go')

iss'da').→어머니는 밥을 짓고  
있지 않다.

(eo'meo'ni'neun'bab'eul'jis'go'  
iss'ji'anh'da'.)

[15] 媽媽做著飯呢。→媽媽沒有做飯。

以上のように中国語の「V+着」形の場合  
は「状態存続」「結果状態の持続」「状態の  
維持」といった意味を実現する際、日・韓両  
言語の「～ている/～고 있다(～go'  
iss'da')」形式とは違って、ある状態が維持  
されるといった意味を実現する機能をも担  
っており、日本語の「～ている」形とは対応  
せず、韓国語の「～어, 아, 여, 저(～eo',  
a', yeo',)있다.(iss'da'.)」形と対応する文  
法的な振る舞い方をしている。

### 3. 「結果状態の持続」の意味を実現する 「了」形

#### 3-1. 離脱し得る現象の場合

上で指摘したように中国語のアスペクトを  
表す形式の中で「V+著」形は、「状態存  
続」「結果状態の持続」「状態の維持」とい  
った意味を実現していることが明らかになっ  
た。しかし、下記例文のような場合におい  
ては日・韓両言語は「～ている/～저 있다(～  
jyeo'iss'da')」形式のまま、「結果状態の  
持続」の意味を実現しているのに対し、中  
国語の「V+著」形は消えてしまい、別の形  
式「了」がそれを担っているケースが存在す  
る<sup>3)</sup>。

3) 彭広陸(2002)によると、「している」が「着」と訳さ  
れている例においては、日本語の動詞には変  
化動詞が多いと指摘している。また、語彙的な

[16] あっコップが割れている。

[16] 아! 컵이 깨져 있다.(a'! keob'i'  
ggae'jyeo'iss'da'.)

[16] a.啊! 杯子破了。\*b.啊! 杯子破著  
了。

[17] この間買ったばかりの靴が破れて  
いる。

[17] 산지 얼마 안 되는 구두가  
뜰어져 있다.(san'ji' eol'ma'  
an'doe'neun'gu'du'ga'  
ddeut'eo'jyeo'iss'da'.)

[17] a.剛買的鞋子破了。\*b.剛買的鞋子  
破著了。

[16]~[17]からも窺われるように、日本語  
の「～ている」形に対応する韓国語は「～て  
いる/～저 있다(～jyeo'iss'da')」であり、中  
国語の場合、「コップが割れている。/컵이  
깨져 있다.(keob'i'ggae'jyeo'  
iss'da'.)」形が「杯子 破了。」「靴が破れて  
いる。/구두가 뜰어져 있다.(gu'du'ga'  
ddeut'eo'jyeo'iss'da'.)」が「鞋子破了。」のよ  
うに「了」形が対応している。

このように中国語の場合「コップが割れて  
いる。/컵이 깨져 있다.(keob'i'ggae'jyeo'  
iss'da'.)」のような現象を表す動詞では、そ  
れを静的な状態として捉えたり、ある事柄が  
何かに付着している現象ではなく、離脱し  
得る現象を捉える。言わば、「取り外し」のよ

意味が<くつき>を表す動詞も、<出現>を  
表す動詞も継続相(している)の形を取っていると、  
<付着性>を表すようになり、このような動詞  
が中国語に訳される時には「着」の形を取りやす  
いとする。



うな語彙的な意味を有する動詞の場合は、変化後元の状態に戻らないという語彙的な意味を持っているため、「V+著」形を使わないという特徴があることから、例文[16]~(b)や[17]~(b)のような文は「V+著」形を使うと非文になってしまうのである。その他にも例えば、次のような例も挙げられる。

[18] 壁に貼ってあったポスターが外されている。

[18] 벽에 붙어 있던 포스터가 벗겨져 있다. (byeog'e' but'eo' iss'deon' po'seu'teo'ga' beos'gyeo' jyeo' iss'da'.)

[18] 海报掉了。

[19] 단추가 떨어져 있다./떨어 졌다. (dan'cu'ga' ddeol'eo' jyeo' iss'da'./ddeol'eo' jyeoss'da'.)

[19] 纽扣掉了。

日本語の場合、上記例文[18][19]のように変化後の「結果状態の持続」の意味を実現する際は「～ている」形が用いられるのに対し、韓国語の場合は[18][19]のような「取り付け」、「取り外し」の語彙的な意味を有する動詞類では、「～져 있다(～ jyeo' iss'da')」形が用いられる。そして、中国語の場合は「V+著」形はその本来の「付着」という語彙の意味が生きていて、何かが付着している場合ならば、「V+著」形が使われるが、その逆の場合は「了」形が代わりに用いられるという特徴がある。それは、上記のような場面を表す「結果状態の持続」の意味

実現に焦点が置いてあるのではなく、その状態の持続を引き起こす前の段階の「変化」を捉えていることに起因するのである。

つまり、「コップが割れた」「靴が破れた」「ポストが外された」「ボタンが取れた」などは、それぞれ「割れていないコップに何らかの変化が起こり、その変化の成立後」「破れていない状態の靴に何らかの変化が起こり、その変化の成立後」「外れていないポスターに何らかの働きかけがあって、その変化の成立後」、「割れた」「破れた」「外れた」「取れた」状態が現に維持されていることを捉えているのである。

このように韓国語や中国語はある状態や現象の捉え方、つまり目の前の現象を捉える際に変化後の「状態維持」を問題にするか、変化後の「結果状態の持続」だけを問題にするかによって、異なる形式を取っているのである。韓国語の場合においても目の前の現象を捉える時は、例文に見られるように中国語の「了」形に対応する「컵이 깨져 있다. (keob'i' ggae' jyeo' iss'da'.)/구두가 떨어져 있다. (gu'du'ga' ddeut' eo' jyeo' iss'da'.)」を用い、必ずしも「～져 있다(～ jyeo' iss'da')」という「状態の維持」を捉える形式を取ることに類似点が認められる。

上記の例文の場合、中国語を母語とする台湾人日本語学習者は日本語の「～ている」形を回避し、「割れた/割れました」「敗れた/破れました」「外れた/外れました」「取れた/取れました」などのように言う傾向が目立つ。しかし、これらが目の前の現象を捉える発話だとすれば、落ち着き





がわるいのである<sup>4</sup>。

つまり、上記のような動詞類はそれぞれ客体の変化を表す動詞であり、このような動詞の場合、中国語を母語とする台湾人日本語学習者の誤用は目の前の現象を捉える際に、「結果状態の持続」を捉える「割れている」「破れている」「外れている」「取れている」より、「変化」の前段階である「割れていない」「破れていない」「外れていない」「取れていない」前段階から「割れた」「破れた」「外れた」「取れた」状態の変化後の維持を捉える「了」形を使う言語意識から生じる問題だと思われる<sup>5</sup>。さらに、「結果状態の持続」とは異なり、「状態の維持」とも言うべき、下記のような例文の場合において「届く」「はじまる」のような動詞の場合、届いた結果や始まった結果の状態が維持されていることを捉えた表現形式になる。

[20] 大学からの成績表がすでに届いている。

[20] 대학에서 보낸 성적표가 이미 도착해 있다. (dae'hag'e'seo' bo' naen' seong'jeog'pyo'ga' i'mi' do' cag'hae'iss'da'.)

4) 今回のアンケート調査結果を見ると回答者のうち、例文の中国語を日本語に翻訳した場合「了」形に当たる「マシタ」と翻訳した場合が90%で、日本語の「～テイル」形を習得する過程でこのような動詞類について一層注意を払う必要があると思う。

5) 許夏珮(1997:p47)にも、現在の状態が何らかの出来事の結果生じたものである場合に使う「結果状態」の用法は、中国語では完了を表す「了」で訳されることが多いため、学習者は混乱しやすいという小稿と同様な指摘がある。

[20] a.從大學寄來成績單。b.從大學寄來了成績單。\*c.從大學寄來著成績單。

[21] 到着したらもうインタビューは始まっている。

[21] 도착했더니 인터뷰가 이미 시작되어 있다. (do'cag'haess'deo'ni'haess'deo'ni'in'teo'byu'ga' i'mi'si'jag'do'e'eo' I ss'da'.)

[21] a.一到卻發現面試經開始了。\*b.一到卻發現面試已經開始著。

上記例文[20]の日本語、「届いている」の「～ている」形に対応する韓国語の場合を見ると、[20]の「도착해 있다(do'cag'hae'iss'da')」のように「～해 있다(～hae'iss'da')」が対応していることが分かる。また、例文[20][20]のような文の場合、その基準時間は「すでに/이미」という過去の意味を表す副詞が「届いた」その基準時を示しており、[21][21]の場合は、「もう/이미(i'mi')」という副詞が「始まった」基準時を示している。このような動詞の場合においては、「状態存続」や「結果状態の持続」といった意味実現の決まり方が、基準時と同時か或いは重なっているのに対し、「状態の維持」として捉える場合は事柄の基準時が「届く」「始まる」という基準時間よりも先に完了していることが分かる。従って「成績が届いたことを見つけた瞬間/성적표가 도착한 것을 발견한 순간(seong'jeog'pyo'ga' do'cag'han'geos'eul' bal'gyeon' han' sun'gan')」より前に



完了しており、「到着した時間/ 도착한 시간(do'cag' han'si'gan')」より前に「インタビュー/ 면접(myeon'jeob')」が始まって今現に維持されている。

このように事柄は完了したが、その完了したこと自体が基準時間の時点まで、まだ話者にとって何らかの状態でその影響力、効力を維持している「状態の維持」という意味実現のされ方も存在しており、このような場合、韓国語と同様に中国語においても、例文[20](c)や[21](b)に見られるようにアスペクト・マーカを示す「了」形を使う言語規範を持っており、「著」を使うと非文になってしまう<sup>6</sup>。このような理由から、中国語を母語とする台湾人日本語学習者は日本語の「～ている」形や韓国語の「～해, 어 있다(～hae', eo' iss'da')」の意味実現のされ方を理解できず、「完了」の意味を表す「了」形に対応する「届きました/도착했습니다. (do'cag'haess'seub' ni'da)」や「始めました/시작되었습니다(si'jag'doe'eo ss'seub'ni'da)」のように「マス」形に「タ/였(eoss')」という過去時制を付けて表現してしまうケースが十分あり得る<sup>7</sup>。逆に中国

語を目標言語として学習する日本語母語話者や韓国語母語話者は、今後このように十分に注意を払う必要があると考えられる<sup>8</sup>。

## 3-2. 中国語の「正～著」「V+著」形の用法の多様性

### 3-2-1. 「現在」「過去」「未来」を表す用法

中国語の「V+著」形は日・韓両言語の「～ている/～고, 어, 아, 여, 저 (～go', eo', a', yeo', jyeo')있다. (iss'da').」形式と同様に「過去」「現在」「未来」を表すことができ、文法的に「正」「正在」とは異なる文法的な振舞い方をしており、下記の例文に見られるように時間的に自由であることが分かる。

[22] 昨日私が彼女を訪ねた時、彼女はちょうど電話をかけていた。

[22] 어제 내가 그녀를 찾아 갔을 때 그녀는 마침 전화를 걸고 있었다. (eo'je' nae'ga' geu' eul' ddae' nyeo'reul' caj'a' gass'geu'nyeo'neun' ma'cim' jeon'hwa'reul' geol'go' iss'eoss'da'.)

6) 許夏珮 (1997:p47)にも、現在の状態が何らかの出来事の結果生じたものである場合に使う「結果状態」の用法は、中国語では完了を表す「了」で訳されることが多いため、学習者は混乱しやいという小稿と同様な指摘がある。

7) 彭広陸(2002:p159)では、「了」は、限界「多くの場合は終わりの限界」への到達、即ち「完了」を表している。さらに完了した運動(動作・変化・状態など)が設定時点まで有効である場合は、<パーフェクト>へ移行してしまうのである。<完了(完成相)>というアスペクト的意味を表すのが「了」の主な用法であるとすれば、<パーフェクト(パーフェクト)>を表すのは「了」の副次的

な(派生的な)用法ということになるという指摘があり、中国語を母語とする台湾人日本語学習者のほとんどは、日本語の「テイル」形を翻訳する際「了」の用法のうち、<完了(完成相)>の用法のみに引きずられ誤用を犯すのではないかと考えられる。

8) 例文[20][21]の場合、アンケートの調査結果にも現れているように、母語の言語規範を頼りにしたせい回答者の87%が「～テイル」形の代わりに「マシタ」という述語形を使っており、日本語の「～テイル」形を教える際に両言語のアスペクト体系について詳細な指導が要求される。



[22] a. 昨天我去找她的時候, 他正打著電話呢。  
 \*b. 昨天我去找她的時候, 他打過電話呢。  
 \*c. 昨天我去找她的時候, 他打了電話呢。

[23] 明日あなたがここに来たときには、ここに家具一セットがあるだろう。

[23] 내일 당신이 다시 왔을 때, 여기엔 가구가 있을 것이 다. (nae'il'dang'sin'i'da'si'wa ss'eul'ddae', yeo'gi'en'ga 'gu'ga' iss'eul' geos'i'da'.)

[23] a. 明天你再來的時候, 這裡一定會擺著一套家具。  
 \*b. 明天你再來的時候, 這裡一定會正在擺一套家具。  
 \*c. 明天你再來的時候, 這裡一定會在擺一套家具。

[22][23]のような場合、日・韓両言語なら両方とも「～していた/～하고 있었다(～ha'go' iss'eoss'da')」として、「昨日」という過去や完了を表す時制「た/있, 았 (eoss', a ss')」が使われるが、上記例文の[22]~[23]の中国語の場合、それぞれ「正～著」「V+著」形が対応していることが分かる。このように、「正～著」「V+著」形は、それぞれ「昨日の時点や未来の時点」で何をしているかを捉える表現にも用いられるという特徴がある。例えば、上記の例文[22]~(b)、(c)において、「昨天我去找她的時候」という従属節がない場合は通常、「他打過電話」、「他打了電話」のように「過」、「了」形と対応し、自然な文となる。また、例文[23]~(b)、(c)においても、話し手が「V+著」形を以て「明日」とい

う時点から未来のことを述べており、この際現在の「状態存続」を捉える「正在」、「在」などを使うと非文になってしまうのである。このように中国語の「正在～著」「V+著」形は「過去」や「未来」の視点からも「状態存続」を表す点において、日・韓両言語の「～ている/～고 있다(～go'iss'da')」形と類似点が認められる<sup>9)</sup>。

9) 例文[22] [23]のような場合、今回のアンケート調査からも明らかになったように80%以上の中国語を母語とする台湾人日本語学習者が日本語のテンスやアスペクト体系をよく理解できず、間違った用法を使ってしまう傾向があり、細心の注意を払う必要があると思われる。一方、例文[23]~[24]の場合、中国語を目標言語にする日本人学習者や韓国人学習者に中国語を指導する際には、逆に中国語の「正～著」「V+著」形式の意味・用法の多様性に注意を払わなければならないと思う。例文[24][25]、例文[24]~[25]の場合においても同様なことが言えると思う。



4.おわりに

上述してきた論点をわかりやすく表にして示すと以下のようになる。

三ヶ国間のアスペクト 対応体系				
言語意味 実現	日本語	韓国語	中国語	動詞例
状態維持 *変化(付着)	「～ている」	「～어/저 있다 (~eo' /jyeo' iss'da')」	「了」	「取れる」 「外す」
状態維持	「～ている」	「～어/저 있다 (~eo' /jyeo' iss'da')」	「了」	「届どく」 「始まる」
状態維持否定	「～ている」	「～어/저 있다(~eo' /jyeo' iss'da')」	「著」	
現在の状態	「～てある」	「～고 있다(~go iss' da')」「～ 어/저 있다 (~ eo' /jyeo'iss' da')」	「別の表現が 代用」「了」 「正～著」 「著」	電気が点い てある門が 開いてある など。
情態動詞	「～ている」	「～저 있다(~jyeo' iss'da')」 「～았, 었다(~ ass',eoss' da')」	「著」 「別の表現が 代用」	「曲がる」 「尖ってい る」「似てい る」など。

(1) 中国語の「V+著」形は日・韓両言語の「～ている/～고 있다(~go' iss'da')」形と同様に「過去」「現在」「未来」を表す法があり、文法的に「正」「正在」などとはなる振舞い方をしており、この際「過」「了」形を使うと非文になってしまう。しかし、中国語を母語とする台湾人日本語学習者者の場合「過」「了」形に対応する「夕」形を使ってしまう誤用が多く観察される。従って「～ている/～어, 저 있다/~eo', jyeo'iss'da')」形式を導入する段階からそれぞれの言語間のアスペ

クト体系について類似点と相違点に対する十分な説明を与える必要があるだろう<sup>10</sup>。

(2) 目の前の現象を捉える際、日本語は

10) 許(2000:p28)では、OPIデータを使い、異なった言語体系を持つ学習者に、テイルの習得に関し普遍性が見られるとし、一定の学習順序モデル(学習者が認識しているテイルのプロタイプ)を示した。そこでは、日本語教育の現場でテイルの意味を教える際、習得モデルをもとに、「現在性」「持続性」「運動性」という三つの要素が揃っているプロタイプ性が高いものから低いものへ、という順序で導入していけば、「運動の持続」というテイルの一番基本的な意味から、理解困難なテイル意味までの習得が可能になると提案している。詳細は許(2000)を参照されたい。



「～である」形が用いられ、これに対応する韓国語の場合は、中国語のアスペクトマーカを示す「了」形に対応する「～어、저 있다/～eo', jyeo'iss'da'）」という「状態の維持」を捉える形式を取ること中国語との類似点が認められる。このような場合、中国語を母語とする台湾人日本語学習者は、日本語の「～である」形を回避し、「タ/マシタ」などのように言ってしまう傾向が目立つ。しかし、これらが目の前の現象を捉える発話だとすれば、落ち着きがわるいのである。

- (3) 中国語の「了」形は、ある事柄が完了し、その完了したこと自体が基準時間の時点までまだ話者にとって何らかの状態でその影響力、効力を維持している場合、「状態の維持」という意味実現のされ方も存在しており、このような時、中国語は「～著」形式を使うと非文になり、これに対応する「～了」形式を使う言語意識から中国語を母語とする台湾人日本語学習者には誤用が起りやすい原因になる。

以上、小稿では、上述したように言語移転による誤用を防ぐより適切かつ有効な教授法を模索する一環として三か国間のアスペクト形式の対照分析を行い、各言語間の類似点や相違点を分析したわけであるが、中国語を母語とする台湾人日本語学習者に日本語の「アスペクト」形式を導入し、教える際には、「アスペクト」形式の基本的な二つの用法を先に説明した後、次第に周

辺的な用法を説明しながら学習効果を高める方法も一つの解決策になると提案したい。さらに、中国語を母語とする台湾人日本語学習者の場合は、中国語の「了」形は実現済みを表す「完了」と理解され、日本語の「タ」形だけに対応すると認識するあまり、「～ている」形との対応は疎かに扱われ、誤用を起こすケースがよく観察される。教える教師もこのような点を見逃してはいけないと思う。小稿では、このような言語移転による誤用を防ぐ、より適切かつ有効で具体的な教授法の提示までの追求は残念ながらできず、それぞれのアスペクト形式の対応関係中に見られる中国語を母語とする台湾人日本語学習者の誤用例とその数値だけを提示するにとどまっている。小稿を通して明らかにならなかった点はすべて今後の課題に残し、別稿を期したい。

## 主要参考文献

- ・井上優・生越直樹 「過去形の使用に関わる語用論的要因—日本語と朝鮮語の場合—」『日本語科学』1号、国立国語研究所、1997
- ・이남순、「현대국어의 시제와 상에 관한 연구」『국어연구』46、1981
- ・吳 鍾烈、「アスペクトと局面動詞」『日本語と日本文学』第 19 号、筑波大学国語国文学会 1-11、(『日本語学論説資料』文法篇 30 号 所収)、1993



- ・吳鍾烈、「中・日・韓三ヶ国のアスペクト体系の対照研究(1)」、『日本語教育研究』、第 19 輯、韓国日本語教育学会、2010
- ・吳鍾烈、「中・日・韓三ヶ国のアスペクトの対照研究(2)』『語言文學課程與教學學術討論會論文集』明道大學人文學院、2011
- ・김기혁、『국어문법연구』형태통어론 도서출판 박이정、1995
- ・北原博雄、「移動動詞と共起するニ格句とマデ格句—数量表現との共起関係に基づいた語彙・意味論的考察—』『国語学』第 95 輯、国語学会、1998
- ・金田一春彦、『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房、1976
- ・권재일、『한국어통사론』민음사、2000
- ・工藤真由美、「現代日本語のパーフェクトをめぐって』『ことばの科学 3』言語学研究会編、むぎ書房、1989
- ・工藤真由美、『アスペクト・テンス体系とテキスト—現代日本語の時間の表現』ひつじ書房、1995
- ・黒野敦子、「初級日本語学習者における「テイル」の習得について』『日本語教育』87号、1995
- ・迫田久美子、『日本語教育に生かす第二言語習得研究』アルク、2002
- ・許夏珮、「中上級台湾日本語学習者による「テイル」の習得に関する横断研究』『日本語教育』95号、1997
- ・許夏珮、「自然発話における日本語学習者による「テイル」の習得研究—OPI データの分析結果から—』『日本語教育』104号、2000
- ・許夏珮、「ムードに関わるテイル. テイタおよびその習得について—」東吳日語教育學報、2007
- ・張麟声、「中日両語のアスペクト——“了”と“タ”を中心に」明治書院『日本語語学』三月号、1985
- ・張麟声、『日本語教育のための誤用分析—中国語話者の母語干渉20例』スリーエーネットワーク、2003
- ・于康・村松恵子、『了 le』のテンス・アスペクト特性」、好文出版『中国語言語学情報 3』金立鑫/訳、2001
- ・小坂光一、「『成立』と『存在』(3)—『タ形』と『テイル形』」、名古屋大学言語文化研究会『ことばの科学』、2001

- ・徐京梅、「『～了』とシテイル形式の対照研究」、外語教学與研究出版社『中日對譯語料庫的研制與應用研究論文集』、2002
- ・于康・岩本真理、「『了1』、『了2』の位置づけと現代中国語のアスペクト体系」、好文出版『中国語言語学情報 3』方霽/訳、2001
- ・彭広陸、「パーフェクトを表す『している』と対応する中国語の表現—『中日対訳コーパス』を資料として—」、外語教學與研究出版社『中日對譯語料庫的研制與應用研究論文集』、2002
- ・望月圭子、『中国語のパーフェクト相』、『東京外国語大学論集』第55号、1997
- ・于康・中川裕三、「現代中国語の語尾『了』の文法的意味」、好文出版『中国語言語学情報 3』劉勳寧/訳、2001
- ・남기심・이상억・홍재성 外、「외국인을 위한 한국어교육의 방법과 실제』 한국방송대학교출판부、1999
- ・仁田義雄、「動詞とアスペクト—語彙論的統語論の観点から—」、『計量国語学』14-3 計量国語学会、1983
- ・한동완 『국어의 시제 연구』 국어학총서 24 국어학회、1996
- ・姫野昌子、『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ書房、1999
- ・森山卓朗、『日本語動詞述語文の研究』明治書院、1988
- ・矢澤真人、「副詞的修飾の諸相」『日本語の文法1 文の骨格』岩波書店、2000
- ・吉川武時、「現代日本語動詞のアスペクトの研究」、『Linguistic Communications-Monash 大9(『日本語動詞のアスペクト』金田一春彦編 1976、むぎ書房所収)、1973
- ・頼華光、「ている」「ていた」を使う時の問題点について」一二年生の作文と三年生の作文の一部から 東吳日語教育學報、1982
- ・頼華光、「中日対照分析—「了」と「た」について」東吳日語教育學報、1981
- ・林錦川、「動詞のアスケクト分類の指導方法について」東吳日語教育學報、1981
- ・劉月華・潘文娛・故韓、實用現代漢語語法』商務印書館、2007
- ・盧月珠、「た」と“了”の日中比較 —テンズ・アスペクト・ムードの観点から— 東吳日語教育學報、1991

